学校番号	3020B

平成３１年度　　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2	年次	1
使用教科書	高等学校　改定版　新現代社会　（第一学習社）						
副教材等	最新図説　現社　（浜島書店）・新現代社会ノート　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・人間としての在り方生き方についての自覚を持つ。
・現代社会の様々な課題について幅広い視野から考察を行う。
・平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な資質を養う

２　学習の到達目標

・人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、現代の社会と人間についての理解を深める。
・現代社会の基本的な問題について主体的に考察し、公正に判断する。
・時事問題に興味・関心を持ち、良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：資料活用の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	現代社会における世界の課題に対する関心と課題意識を高め、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を、時事的問題を踏まえて考察し、国際社会の変化に伴う課題を公正に判断して、適切に表現している。	現代社会における諸課題に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代社会の諸課題を、世界を日本の歴史や地理的条件と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	プリント レポート [主題学習] 振り返りシート	定期考査 プリント [主題学習] レポート	定期考査 プリント [主題学習] 課題シート	定期考査 [主題学習] 内容のまとまり
	※　「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	私たちの生きる社会	○環境・資源・科学技術	○	○	○	○	環境問題、資源問題、科学技術の発展が与える現代社会への影響を考察できているか	プリント 定期考査
前期 後期	現代社会と人間としてのあり方生き方	○青年期と自己の形成 ○個人の尊重と法の支配 ○現代の民主政治と政治参加の意義 ○国際政治の動向と日本の役割 ○現代の経済社会と私たちの生活 ○国際経済の動向と日本の役割 ○民主社会に生きる倫理	○ ○	○	○ ○ ○	○	a.青年期の意義や自己形成の課題を踏まえ、生涯にわたる学習にとりくもうとしている。 b.個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障のために法の支配の精神を考察できているか c.基礎的知識を踏まえて、国際社会における時事的問題を分析、表現できる。 経済の仕組みの基本的理解をもとに、現代の私たちの経済的な課題を表現できる。国際経済の様々な課題を資料を活用して表現することができる。 d.民主社会における倫理の必要性を自己の課題としてとらえている。地方自治の精神を踏まえて、国民の政治参加の意義を理解している。	プリント グループワーク 定期考査
後期	ともに生きる社会を目指して	○ケーススタディ	○	○	○	○	a.現代の諸課題に主体的に取り組もうとしている。 b.現代の諸課題の基礎的知識を持っている。 c.現代社会の課題を基礎的知識と幅広い見地から捉え、資料を利用しながら表現することができる。 d.現代社会の在り方について理解している。	プリント グループワーク 発表会

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。